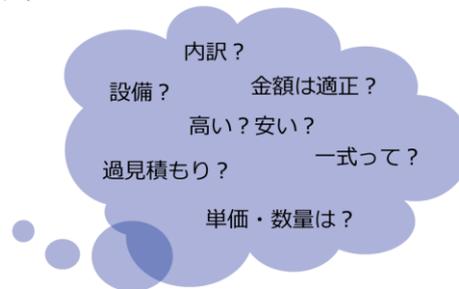


■見積書分析業務

建設会社や住宅メーカーに家づくりをお願いして、見積書を頂いたが適切かどうか分からない方に、当事務所では見積書分析業務を行っています。見積内訳書を精査し、設計依頼された内容と整合性があるか否か、見積落とし、過見積もりがあるか否か、単価・数量において類似事例との比較から、高いのか安いのかの判断、適切な数量か否かといったことを分析し、ご報告します。

見積書	
△△様邸	○×建設
¥30,000,000	



見積書分析業務報酬(1見積書当たり)(税別)	
一般戸建住宅(新築)	6万円
一般戸建住宅(改修)	4万円
集合住宅、事業用建物	25万円

△△邸	
規模	防火地域
構造種別	
施主氏名	見積書ページ数
住所	見積書項目数
項目	備考
単価	
数量	
過見積	
所見	

見積書分析報告書(A4、1枚)

■相見積オルガナイズ業務

上記の分析結果により、現状の建設会社に不安を持たれた場合、他社を入れて同じ条件の元で相見積を実施する方法があります。そのことにより比較検討が可能となります。その結果、他社のほうが安価である場合は、他社で施工することも可能です。以前、集合住宅の事例で相見積をしたところ1億円位の差が出たことがあり、当初の建設会社を外して他社に決めたことがありました。

(このケースの場合は、当方で実施設計をやり直して再度相見積を実施しました)

相見積オルガナイズ業務(一物件当たり)(税別)	
一般戸建住宅(新築)	12万円
一般戸建住宅(改修)	8万円
集合住宅、事業用建物	60万円